

第111回

全国図書館大会 愛媛大会

「地理図誌稿14 道後温泉之図」
愛媛県立図書館デジタルアーカイブより

図書館が 彩る未来 伊予路から
令和7年10月30日(木)・31日(金)

大会ホームページ

大会紹介サイト

<https://www.pref.ehime.jp/site/111th-library-ehime/>

詳細・申込みサイト

<https://111th-library.com/>



会場

愛媛県県民文化会館(メインホール)ほか

- 【主催】 公益社団法人日本図書館協会、愛媛県、愛媛県教育委員会、松山市、松山市教育委員会、愛媛県図書館協会、愛媛地区大学図書館協議会、愛媛県高等学校教育研究会図書館部会、愛媛県教育研究協議会学校図書館委員会、愛媛県公民館連合会
- 【共催】 四国地区公共図書館連絡協議会、徳島県公共図書館協議会、香川県図書館協会、高知県図書館協会、鳥取県図書館協会、島根県公共図書館協議会、岡山県図書館協会、広島県公共図書館協会、山口県図書館協会、石川県図書館協会(次回開催県)
- 【後援】 文部科学省、国立国会図書館、全国公共図書館協議会、国立大学図書館協会、公立大学協会図書館協議会、私立大学図書館協会、専門図書館協議会、一般社団法人日本書籍出版協会、公益財団法人文字・活字文化推進機構、図書館友の会全国連絡会ほか

連絡先

第111回全国図書館大会愛媛大会実行委員会事務局

〒791-8057 愛媛県松山市大可賀2丁目1番28号

アイテムえひめ3階スカイホール 愛媛県立図書館内

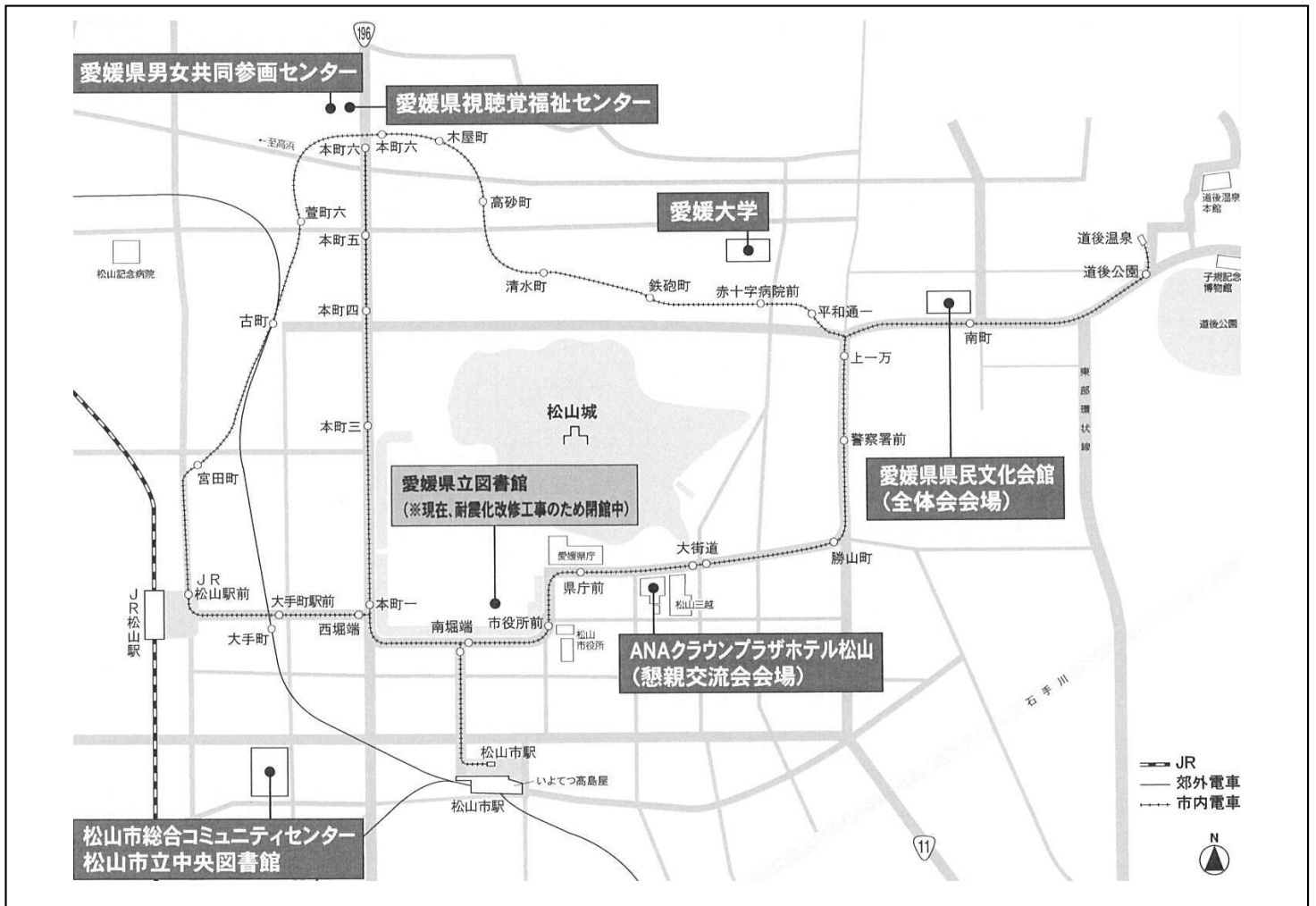
電話：089-941-1441 FAX：089-941-1454

Eメール：tosyokan@pref.ehime.lg.jp



愛媛県イメージアップキャラクター
みきやん

第111回 全国図書館大会愛媛大会 会場地図



- 愛媛県民文化会館
全体会・パネル展示等
- 愛媛県男女共同参画センター
第1分科会(多目的ホール)
第10分科会(午後/3階研修室)
協賛展示会
- 愛媛大学
第2分科会(南加記念ホール)

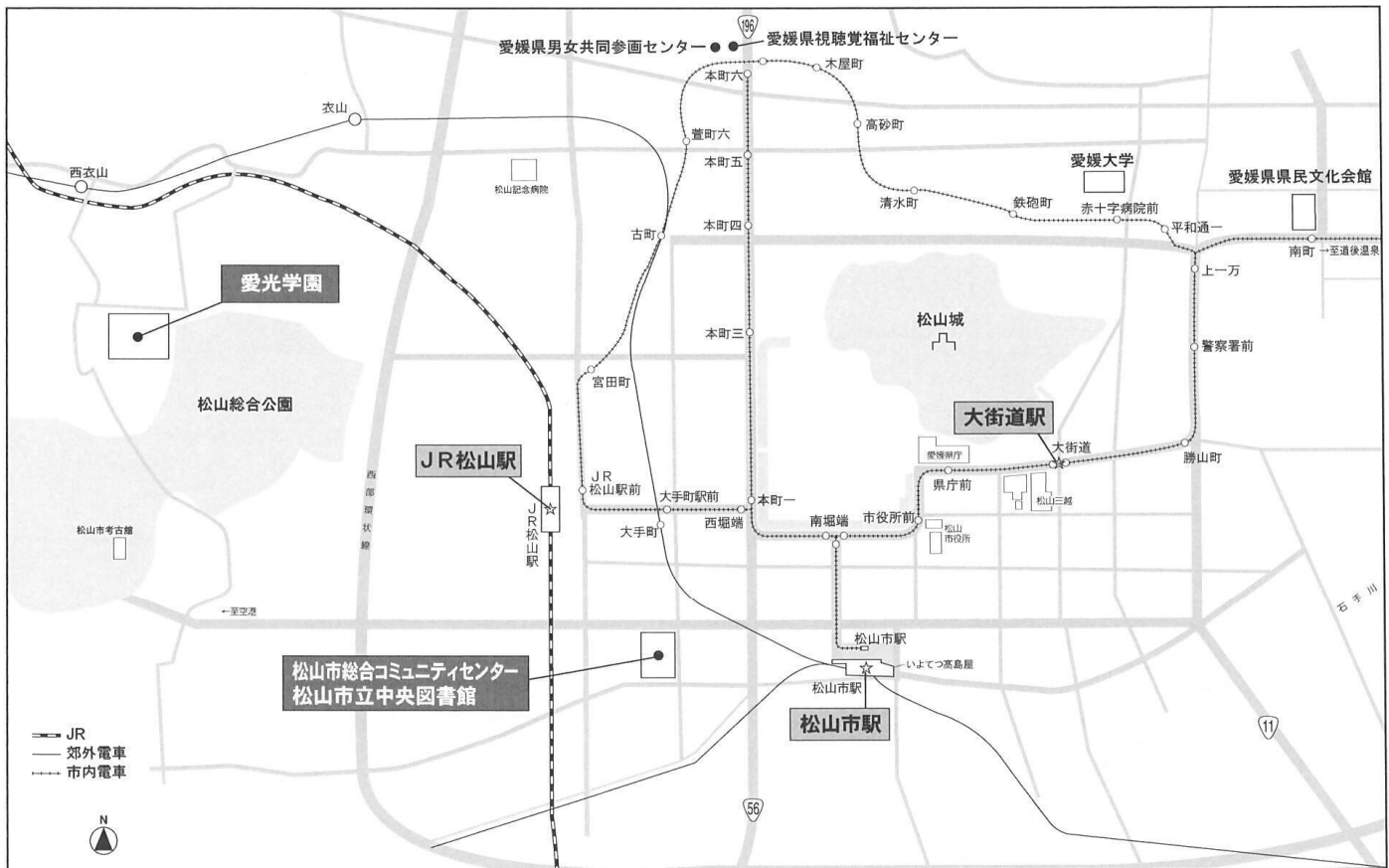
- 松山市総合コミュニティセンター
第4分科会(大会議室)/第5分科会(企画展示ホール)
第6分科会(第1・2会議室)/第7分科会(第4・5会議室)
協賛展示会
- 愛媛県視聴覚福祉センター
第8分科会(午前/多目的ホール)
第9分科会(午後/多目的ホール)

【愛媛県民文化会館までのアクセス】 (鉄道利用)

- JR松山駅→伊予鉄市内電車(道後温泉駅行)で約21分、南町電停(県民文化会館前)で下車/
伊予鉄バス52松山空港線(道後温泉駅前・湯の山ニュータウン行)で約27分、南町県民文化会館前バス停で下車
- 伊予鉄松山市駅→伊予鉄市内電車(道後温泉行)で約17分、南町電停(県民文化会館前)で下車/
伊予鉄バス52松山空港線(道後温泉駅前・湯の山ニュータウン行)で約15分、南町県民文化会館前バス停で下車
(航空機利用)
- 伊予鉄バス(道後温泉駅前・湯の山ニュータウン行)で約45分、南町県民文化会館前バス停で下車/
リムジンバスで約36分、県民文化会館で下車
(自家用車利用)
- 松山自動車道松山ICより約30分
※駐車場(有料)には限りがあります。

※自家用車でお越しの場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

第111回 全国図書館大会愛媛大会 会場地図（第3分科会）



○愛光学園
第3分科会（文化会館）

【愛光学園までのアクセス】
伊予鉄道郊外電車(高浜線)
西衣山駅から徒歩7分

【送迎バスのご案内】

第3分科会会場までは、10月31日に送迎バスを運行いたします。（乗り場は地図上3か所です。）
ご利用の際は、大会申込時にお申込みください。

○出発予定時刻（場合によっては前後します）

【往路】

【大街道駅】（大街道商店街北側入口）8:20頃発 →【松山市駅】8:30頃発 →【JR松山駅】8:40頃発 →
→【愛光学園】9:00頃到着

【復路】

【愛光学園】16:15発 →【JR松山駅】16:30頃発 →
→【松山市総合コミュニティセンター】（復路下車のみ）16:38頃発 →【松山市駅】16:45頃発 →
→【大街道駅】（大街道商店街北側入口）17:00頃到着

※自家用車でお越しの場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

開催にあたって

四国の北西部に位置し、西日本一の高さを誇る石鎚山に抱かれ、穏やかな瀬戸内海、広大な太平洋に通じる宇和海に囲まれた愛媛県。かつて伊予国(いよのくに)と呼ばれた愛媛の道(街道・海道)“伊予路(いよじ)”は、古代より都をはじめ全国各地、さらには海外との間で、多くの人や物資と共に、文化や情報が行き交ってきた交流の道です。また、正岡子規をはじめ多くの俳人が各地を吟行して、風景や心情を十七音で表現してきた創作の道でもあります。そして、性別や国籍、年代、宗派等多様な属性の人々を迎え入れている四国遍路は、千年以上の歴史がある巡礼の道です。

このような伊予路の特徴は、これからの図書館を考えていくうえで必要な、「人や情報の交流」、「新たな文化の創造」、「多様性と包摂性」といったキーワードと重なります。図書館があること、図書館を使うことで、日々の暮らしや地域全体がより豊かで楽しいものとなり、明るい未来へとつながっていく。こうしたイメージを「図書館が彩る未来」という言葉に託し、伊予路が未来へ続く道になるように、という想いを込めて第111回全国図書館大会愛媛大会のテーマを「図書館が 彩る未来 伊予路から」としました。

日比谷図書館館頭や文部省図書館講習所講師、そして日本図書館協会会長・専務理事等を歴任し、日本の図書館界に大きな足跡を残した今澤慈海氏(1882-1968)の生まれ故郷である愛媛県では、初めての開催となります。また、今年は昭和10(1935)年に愛媛県立図書館が設立されてから90周年の節目の年です。この記念すべき年に愛媛で全国図書館大会を開催できることを大変うれしく思います。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日程

日時	12:00		13:00	16:50		18:30	20:30
10/30 (木)		受付等	開会式・全体会				懇親交流会
		パネル展示等は12:00~17:30					
日時	9:30	10:00	12:00	13:30	16:30	17:30	
10/31 (金)		受付	分科会(午前) (第2分科会 10:00~11:40) (第3分科会 9:30~11:15)	昼食 (第9・10分科会受付 13:00~13:30)	分科会(午後) (第2分科会 13:10~16:30) (第3分科会 12:30~16:00)		日図協会のつどい(予定)
	展示会・協賛展示会は9:00~18:00(男女共同参画センターは17:00終了)						

第1日(30日) ・開会式・全体会(主催者挨拶、来賓祝辞、日本図書館協会建築賞表彰式、認定司書交付式、基調報告、記念講演等)、パネル展示等 【会場：愛媛県県民文化会館】

・懇親交流会 【会場：ANAクラウンプラザホテル松山】

第2日(31日) ・第1分科会～第10分科会、協賛展示会

※会場・内容は「分科会一覧・協賛展示会」でご確認ください。

・日本図書館協会会員のつどい(予定) ※大会ホームページでご案内します。

録画配信

・第11分科会・第12分科会 ※大会ホームページでご案内します。

開催形式について

今大会は基本的には対面開催です。

第 11 分科会・第 12 分科会は録画配信です。（第 11 分科会・第 12 分科会以外の配信はありません。）

分科会一覧・協賛展示会

※各分科会内容については、大会ホームページでご確認ください。

分科会		時間	会場
第 1 分科会	公共図書館	受付 9:30～10:00 午前 10:00～12:00 午後 13:30～16:30	愛媛県男女共同参画センター
第 2 分科会	大学・短大・高専図書館	受付 9:30～10:00 午前 10:00～11:40 午後 13:10～16:30	愛媛大学
第 3 分科会	児童・青少年の読書活動支援	受付 9:00～ 9:30 午前 9:30～11:15 午後 12:30～16:00	愛光学園
第 4 分科会	図書館とデジタル化	受付 9:30～10:00 午前 10:00～12:00 午後 13:30～16:30	松山市総合コミュニティセンター
第 5 分科会	災害と図書館	受付 9:30～10:00 午前 10:00～12:00 午後 13:30～16:30	松山市総合コミュニティセンター
第 6 分科会	出版社・書店・図書館	受付 9:30～10:00 午前 10:00～12:00 午後 13:30～16:30	松山市総合コミュニティセンター
第 7 分科会	専門図書館・健康情報	受付 9:30～10:00 午前 10:00～12:00 午後 13:30～16:30	松山市総合コミュニティセンター
第 8 分科会	インクルーシブな図書館	受付 9:30～10:00 午前 10:00～12:00	愛媛県視聴覚福祉センター
第 9 分科会	障害者サービス	受付 13:00～13:30 午後 13:30～16:30	愛媛県視聴覚福祉センター
第 10 分科会	資料保存	受付 13:00～13:30 午後 13:30～16:30	愛媛県男女共同参画センター
第 11 分科会	図書館の自由	(録画配信) ※大会ホームページでご案内します。	
第 12 分科会	非正規雇用職員		
協 賛 展 示 会		9:00～18:00	松山市総合コミュニティセンター
		9:00～17:00	愛媛県男女共同参画センター

昼食に関するご案内

弁当 1,200 円（税込・お茶付）【大会 2 日目のみ・参加申込時にお申込みください】

記念講演

演 題 「読むこと 書くこと 生きるということ」

愛媛県出身でさまざまな分野で文筆活動を行われている3名の方に、それぞれの活動をはじめ、子どものころからの読書や図書館の体験、書くことや本をつくることへの想い、読書環境の変化などについて語っていただき、これからの図書館に対する期待を伺います。

講 師 白川 密成（しらかわ・みっせい）氏

【プロフィール】

四国八十八ヶ所霊場第57番札所栄福寺住職

1977年愛媛県今治市(旧玉川町)生まれ。高野山大学密教学科卒業。書店勤務を経て、2001年より現職。ウェブサイト「ほぼ日刊イトイ新聞」で「坊さん。」を連載。2010年『ボクは坊さん。』（ミシマ社）を出版。2015年にこれを原作とした映画が全国上映され、アメリカ「ヒューストン映画祭」でプラチナアワード受賞。2024年『マイ遍路』（新潮社）で第39回愛媛出版文化賞文学部門賞。他の著作に『空海さんの言葉』（徳間書店）他。共著に『不要不急』（新潮社）など。2025年『みんなの密教』（NHK出版）を刊行。



講 師 高橋 久美子（たかはし・くみこ）氏

【プロフィール】

作家、作詞家

1982年愛媛県四国中央市(旧土居町)生まれ。2004年から2011年までロックバンド、チャットモンチーのドラム・作詞担当として活動し、2012年より作家に。エッセイや小説、詩集、絵本の執筆や、アーティストへの歌詞提供を行う。現在は東京と愛媛の2拠点で暮らし、愛媛では農業も。著書に、小説集『ぐるり』、エッセイ集『一生のお願い』（共に筑摩書房）、『旅を栖とす』（KADOKAWA）など多数。2024年『わたしの農継ぎ』（ミシマ社）、2025年『いい音がする文章』（ダイヤモンド社）を上梓。



講 師 田丸 雅智（たまる・まさとも）氏

【プロフィール】

ショートショート作家

1987年愛媛県松山市生まれ。愛媛県立松山東高等学校卒業。東京大学工学部卒、同大学院工学系研究科修了。現代ショートショートの旗手として執筆活動に加え、松山市主催の「坊っちゃん文学賞」などにおいて審査員長を務める。また、図書館をはじめ、全国各地でショートショートの書き方講座を開催するなど幅広く活動している。著書に『海色の壘』（双葉社）、『おとぎカンパニー』（光文社）など多数。メディア出演に「情熱大陸」など多数。

田丸雅智 公式サイト：<https://masatomotamaru.com/>



コーディネーター 岡田 有利子（おかだ・ゆりこ）氏

【プロフィール】

元公共図書館司書。本と人をつながたい、本を通して人と人をつながたいと、2019年「いよ本プロジェクト」を起ち上げた。私設図書館ビブリオAAの運営、冊子『いよし百冊物語』の発行等の活動を行っている。

分科会

第1分科会 公共図書館 午前・午後

テーマ：「社会教育機関としての公共図書館の可能性 ～学び合い、共に愉しむ場を目指して～」

令和5年6月に閣議決定された第4期教育振興基本計画では、「学び」を通じて人々の「つながり」や「かかわり」を作り出し、協力し合える関係としての土壌を耕すという社会教育の役割が強調されています。では、社会教育法により社会教育機関と規定されている公共図書館は、どのような「学び」を提供し、地域での人々の「つながり」や「かかわり」を創出できるのでしょうか。

本分科会では、このことを課題に設定し、社会教育の最新動向や長年の実践経験、公共図書館の先進事例をもとに考えていきます。利用者・住民、そして図書館職員も共に愉しむことができる、そんなワクワクする「学び」を一緒に考えてみませんか。

《午前》

【基調講演】青山 鉄兵（文教大学人間科学部 准教授）

「社会教育機関としての公共図書館の役割を考える視点」

【基調講演】若松 進一（人間牧場 牧場主、年輪塾 塾長）

「6つのコミュニティに生きる」（仮題）

【クロストーク】

青山 鉄兵（前出）×若松 進一（前出）

「社会教育の可能性」

《午後》

【事例報告】大道 剛（佐川町立図書館 地域プロジェクトマネージャー）

「佐川町立図書館さくとして生まれる学び合いのサイクル」（仮題）

【事例報告】上杉 朋子（真庭市図書館振興室・中央図書館 館長補佐（司書））

「「地域自治の拠点」としての図書館」（仮題）

【事例報告】葛木 伸一郎（たんば社会教育士コミュニティ 代表、特定非営利活動法人 丹波ひとまち支援機構 スタッフ）

「社会教育士×図書館でできること ― 図書館を拠点にした市民協働の実践」

【ディスカッション】

「社会教育機関としての公共図書館の可能性」

＜パネリスト＞

大道 剛（前出）、上杉 朋子（前出）、葛木 伸一郎（前出）

＜コーディネーター＞

青山 鉄兵（前出）



愛媛県イメージアップキャラクター

みきやん、こみきやん、ダークみきやん

第2分科会 大学・短大・高専図書館 午前・午後

テーマ：「研究支援と図書館」

近年、大学図書館を取り囲む教育・研究環境は大きく変化しており、限られた人員・予算・設備の中で、オープンアクセス推進への対応を求められるなど、図書館職員の役割・業務も多様化・高度化している。そういった中であっても、研究者に対する日々の活動支援は、デジタル・非デジタルを問わず、大学図書館に特有の業務として極めて重要な位置を占めている。

本分科会では、図書館職員及び研究者が、お互いへの期待や要望、また、図書館に対する想いについて意見交換することで、未来に向けた研究者支援のあり方や、今後の連携・協働の可能性について考えるきっかけとしたい。

《午前》

【基調講演】 ウェルズ 恵子（立命館大学文学部国際コミュニケーション学域 特任教授）

「図書館が闇に光を差し向ける時—アメリカ黒人にとって図書館はどう重要だったのか？」（仮題）

《午後》

【基調講演】 河部 壮一郎（福井県立大学恐竜学部 教授、福井県立恐竜博物館 研究員）

「恐竜研究にみるデジタル・ライブラリーの力」

【事例報告】 諏訪 敏幸（大阪大学）

「図書館員として研究者と働く×研究者として図書館員を見る」

【パネルディスカッション】

＜ファシリテーター＞

野村 美千江（聖カタリナ大学 副学長）

第3分科会 児童・青少年の読書活動支援 午前・午後

テーマ：「読書の力で育む子どもの未来 ～読書活動支援の工夫と実践～」

読書は子どもの成長に影響を与え、未来を育む大きな力を持っている。

本分科会では、子どもと読書をつなぐ場として重要な役割を担っている「学校図書館」と「児童サービス」の分科会を合同で行い、それぞれの読書活動支援の工夫と実践をともに学ぶことで、学校図書館をはじめとする地域全体が両輪となって作用し合うことの重要性を再確認する。同時に、学校や公共図書館、地域等の関係者が相互に理解し合い、連携・協力する機運の醸成を図る場としたい。子どもが本と触れ合う多様な機会が生まれ、豊かな想像力や表現力、社会性を養う基盤が作られることを期待する。

《午前》

【基調講演】 田丸 雅智（ショートショート作家）

「誰でも書けるって本当に？ ～ショートショートの書き方講座と、そのすすめ～」

《午後》

【事例報告】 武田 理栄（松山市立荏原小学校 学校図書館主任）

「本好きな荏原っ子を育てる読書活動の推進」

【事例報告】 松本 裕子（宇和島市立城北中学校 教諭）

「思いや考えを創造する読書活動の工夫」

- 【事例報告】 山中 恵（愛媛県立吉田高等学校 研修厚生課長・研修主任）
「ものづくり ひとつくり 吉高図書館からの挑戦
～もう1行 もう1ページ もう1冊 知と技を広げる図書館教育～」
- 【事例報告】 菅 朗子（今治市立大三島図書館 監督主任）
「島の子どもと本を結ぶかけ橋に」

第4分科会 図書館とデジタル化 午前・午後

テーマ：「図書館とデジタル化—OPAC から生成 AI、そして次にくるもの」

図書館では、1990年代に始まるインターネットの爆発的な広がりや2000年代以降の携帯端末の広範囲の普及による情報環境と利用者ニーズの変化に応じ、提供コンテンツのみならず施設・設備も大きく変化してきた。今後、AI技術や表現技術、コミュニケーション技術の高度化によってさらに進化した情報環境への対応が求められる。

本分科会は、図書館における情報環境の変化への対応と課題を俯瞰し、今後に向けた自由な議論を行うことを目的とし、デジタル化に伴う図書館の施設と設備の進化、電子図書館とそのサービスの進展、アクセシビリティの向上、デジタルアーカイブとその利用、そして生成AIとその影響に関する講演と、それに続くパネル討論を行う。

《午前》

- 【講演】 杉本 重雄（筑波大学 名誉教授）
背景説明：図書館とデジタル化 - 情報技術の進化と図書館
- 【講演】 植松 貞夫（筑波大学 名誉教授）
「図書館の施設・設備の進化」
- 【講演】 植村 八潮（専修大学 教授）
「電子図書館サービス」

《午後》

- 【講演】 大井 将生（同志社大学 准教授）
「図書館の価値を高めるデジタルアーカイブ活用法；教育利用と商業利用の事例から」
- 【講演】 依頼中（国立国会図書館職員）
「電子図書館におけるアクセシビリティ」
- 【講演】 中島 玲子（慶応義塾大学 非常勤講師）
「生成AIと図書館サービス」
- 【パネルディスカッション】
＜コメンテーター＞
池内 有為（文教大学 准教授）
原田 隆史（八洲学園大学 教授）

第5分科会 災害と図書館 午前・午後

テーマ：「災害への備えと対応」

2024年8月と2025年1月に日向灘を震源とする大きな地震が発生し、気象庁から南海トラフ地震臨時情報が発表された。大規模地震が発生する可能性は高まっていないとのことだったが、いつでもどこでも地震や大雨の災害は起こりうることを踏まえ、図書館での備えが求められている。

そこで、能登半島地震の事例と合わせて、大会開催地である愛媛県が大きな被害を受けた2018年の西日本豪雨の経験を発表してもらい、図書館が被災した場合の対応や日頃の対策について検証する。また、図書館におけるBCP（業務継続計画）から災害後の対応についても考える。最後に、災害への備えについて登壇者が座談会で語り合い、今後の展望から災害対策につなげていく。

《午前》

【基調報告】川島 宏（JLA 図書館施設委員会 委員）
「ユニバーサル・デザイン 安全な図書館施設」

【事例報告】山上 敬良（石川県立図書館 職員）
「能登半島地震の被災地から」（仮題）

《午後》

【事例報告】渡辺 晃（宇和島市立簡野道明記念吉田町図書館 主任）
村井 明弘（大洲市立図書館 館長）
「西日本豪雨 洪水被害からの復興」（仮題）

【講演】鈴木 章生（オーテピア高知図書館 チーフ（支援協力担当））
「南海トラフ地震に備える」

【座談会】「今後の災害に備えるために」

＜コメンテーター＞

川島 宏（前出）
山上 敬良（前出）
渡辺 晃（前出）
村井 明弘（前出）
鈴木 章生（前出）
加藤 孔敬（JLA 図書館災害対策委員会 委員）
西村 彩枝子（JLA 図書館災害対策委員会 副委員長）

第6分科会 出版社・書店・図書館 午前・午後

テーマ：「地域をつなぐ、地域とつながる図書館と書店 ―出版社・書店の現状を認識し、読書文化を守るため、図書館に何ができるかを本気で議論する―」

出版社、書店の経営が厳しくなっていることは知っていても、図書館員はそのことをどれほど認識できているだろうか？

本分科会ではまず、代表的な文芸出版社である新潮社の佐藤社長が出版社、書店の現状を報告する。現状を共有したうえで、規模の異なる3地域(長野県、北海道函館市、徳島県美馬市)において地域をつなぐ、地域とつながる役割を果たそうと尽力している県立、大学、市立の図書館からそれぞれの活動の内容を、また、地方の読書施設に詳しい図書館情報学研究者から人口過疎地の読書環境について報告する。「図書館が出版文化を支えている」という予定調和的な議論でなく、一步踏み込んだ本音の議論を展開したい。

《午前》

【基調報告】佐藤 隆信（新潮社 社長）

「文芸出版を支えるもの」（仮題）

【事例発表】池内 淳（筑波大学 准教授）

「人口過疎地における書店と読書施設」（仮題）

《午後》

【事例発表】森 いづみ（県立長野図書館 館長）

「地域の読書文化をもっと豊かに！信州における試み ―読者×書店×図書館×∞」

【事例発表】栗谷 禎子（公立はこだて未来大学情報ライブラリー 司書）

「「せる」「される」の関係を問い直す：未来大ブックフェアの試み」（仮題）

【事例発表】梶浦 真子（美馬市立図書館 館長）

「図書館がつなぐ人・地域・資料―地域資源をいかして地域課題を解決する図書館―」（仮題）

第7分科会 専門図書館・健康情報 午前・午後

テーマ：「愛媛から市民と共に未病・健康・医療を考える ―健康・医療情報提供とヘルスリテラシー―」

愛媛県内の病院図書室や患者図書室、公共図書館等では、どのように医療や健康情報の提供を行っているのだろう。市民の皆さんは、提供された情報を必要に応じて入手でき、その情報の理解は十分だろうか。

本分科会は、これらの疑問から企画を立案した。午前は、現在実践されている医療機関、図書館や患者図書室からの事例報告を頂く。この報告を受け、午後は、ヘルスリテラシー（情報提供側は適切で理解しやすい情報の評価と提供を、受け手側は自分に合った健康・医療情報を読み解き活用できる能力）について基本的なことがらを学び、午前の報告者と参加者でのグループワークを通じて、医療・健康情報の提供や受取り方を検討し、まとめ上げていく。

《午前》

【事例報告】松長 聡美（一般財団法人永頼会 松山市民病院総務課 主任補・司書）

「医療従事者への学術支援 ～医療サービスを生み出す病院図書室～」 （仮題）

【事例報告】河野 麗（宇和島市立中央図書館 司書）

川中 真紀（市立宇和島病院 医事課地域連携係長）

「宇和島市立中央図書館と市立宇和島病院がん相談支援センターとの連携事業について」（仮題）

【事例報告】崎田 智美（愛媛大学医学部附属病院 副病院長・看護部長）

上原 雅代（愛媛大学医学部附属病院 副看護部長）

「ヘルスリテラシーを支援する患者図書室へ」

《午後》

【ワークショップ】

久保田 崇子（埼玉県立熊谷図書館 司書）

「ヘルスリテラシーの伝え方」（仮題）

第8分科会 インクルーシブな図書館 午前

テーマ：「障壁のないインクルーシブな読書環境の整備に向けて」

読書バリアフリー法は、視覚障害者を中心としたものと取られやすいが、その対象は必ずしも視覚障害者に限定したものではない。一方において、日本に在住する文化的・言語的少数者をはじめとする、本を読むことや図書館の利用において障壁（バリア）を感じている人々も存在する。

本を読むことや図書館の利用におけるバリアは思いもよらないところに存在し、そして、その原因が社会的な要因、社会構造によるものであることに、図書館関係者もあまり気づいていない。

さまざまなバリアへの気づきを促し、全ての住民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会、誰一人取り残さないインクルーシブな図書館の実現を考えたい。

【基調講演】野口 武悟（専修大学 教授）

「読書環境におけるさまざまなバリアとそれらを解消する取り組み」

【講演】成松 一郎（読書工房 代表）

「本が持つバリア」（仮題）

【講演】阿部 治子（JLA 多文化サービス委員会 副委員長）

「文化的・言語的なバリアとやさしい日本語」（仮題）

【パネルディスカッション】

「インクルーシブな読書環境、誰一人取り残さない図書館を目指して」（仮題）

＜パネリスト＞

野口 武悟（前出）

成松 一郎（前出）

阿部 治子（前出）

第9分科会 障害者サービス 午後

テーマ：「四国から―読書バリアフリーを進めるために―」

2019年6月、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）が施行された。これに基づき、2020年に国の読書バリアフリー基本計画が策定され、本年3月にはその第二期が策定された。

本分科会では、図書館の障害者サービスを行う上で重要な国立国会図書館の障害者用資料検索（みなサーチ）と全国視覚障害者情報提供施設協会のサピエ図書館の活用方法について紹介する。

開催地の四国では、県レベルではこれまでに、徳島県が「徳島県読書バリアフリー推進計画」を、高知県が「高知県読書バリアフリー計画」を策定した。計画を策定している二つの県から視覚障害者情報提供施設（点字図書館）と公共図書館に事例を発表いただく。

【講演】 杉田 正幸（国立国会図書館利用者サービス部サービス運営課、JLA 障害者サービス委員会 委員長）

「視覚障害者はみなサーチ（国立国会図書館障害者用資料検索）をどのように利用するか」

【講演】 西村 浩生（全国視覚障害者情報提供施設協会 サピエ事務局長）

「読書が困難な方のための電子図書館『サピエ図書館』の活用方法」（仮題）

【事例報告】 三井 貴浩（徳島県立障がい者交流プラザ視聴覚障がい者支援センター 主任支援員）

「徳島県における読書バリアフリー推進事業の取組み」

【事例報告】 戸荻 綾子（オーテピア高知図書館/高知市立市民図書館 主査）

「オーテピア高知図書館におけるバリアフリーサービスについて」

第10分科会 資料保存 午後

テーマ：「持続可能な資料保存（環境管理）」

近年、地球環境への配慮や光熱費の高騰による節電意識の高まりは図書館の環境管理にも影響を与えている。特にコロナ禍以降、節電要請によって空調を停止したことで、カビの被害にあった図書館もあると耳にする。虫害やカビ対策としてガス燻蒸を行っていた施設も多いと思うが、害虫とカビの両方を殺滅可能でかつ資料への影響も少ない燻蒸ガスは、環境省により主成分の排出削減が求められた結果、2025年3月末に販売停止となった。今後はガス燻蒸に依存しない生物被害対策を行っていく必要性が増している。

この先の図書館における持続可能な環境管理を実施していくためにはどうしたらよいか、本分科会では3名の方からお話を伺い、一緒に考えていきたい。

【基調講演】 水谷 悦子（独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所保存科学研究センター 研究員）

「持続可能な資料保存（環境管理）」

【事例報告】 新屋 朝貴（公益財団法人 三康文化研究所附属三康図書館）

「三康図書館の環境管理の取組」（仮題）

【発表（報告）】

下川 可容子（株式会社タクト）

「IPM 清掃の方法について」（仮題）

第 11 分科会 図書館の自由 録画配信

テーマ：「図書館の自由・この一年」

本分科会は、トランプ政権下でさらに進行する米国での禁書・検閲の動き、サイバー攻撃による図書館サービスへの影響、防犯カメラ・顔認識カメラの設置、フィクションの中で繰り返されるプライバシー侵害など、この1年（2024年10月～2025年9月頃）の「図書館の自由」をめぐる様々な出来事を振り返り、図書館と図書館の自由のあり方について、主体的・自律的に考え、学ぶ機会とすることを目的として動画配信形式で開催する。

【基調報告】山口 真也（JLA 図書館の自由委員会 委員長）
「図書館の自由・この一年」

第 12 分科会 非正規雇用職員 録画配信

テーマ：「非正規雇用とキャリア形成」

非正規雇用が大半を占める公共図書館、学校図書館の中で、専門職員としてのキャリア形成は可能だろうか。非正規雇用でキャリアを積み、正規の司書になった人、非正規雇用で職場を変えながらも認定司書になった人など様々な事例を紹介する。また、大学等での司書養成や、就職後の研修や自己学習の状況についても報告する。非正規雇用の中でキャリア形成を阻む問題点はどこにあるのか。その問題点を探り、解決策を考える。

【基調報告】小形 亮（JLA 非正規雇用職員に関する委員会 委員長）
「日図協調査（公共・学校）に見る非正規雇用職員の能力開発とキャリア形成」

【事例報告】岩永 知子（相模原市議会議会局政策調査課 主査）
「非正規雇用職員としてのキャリア形成」

【事例報告】大場 康智（荒川区立ゆいの森あらかわ 図書専門員）
「非正規雇用職員としてのキャリアアップ制度と研修」

【事例報告】久川 文乃（指宿市立山川図書館 館長）
「指定管理者の中でのステップアップ」（仮題）

【ディスカッション】

第 111 回全国図書館大会愛媛大会 お申込みのご案内

1. 各種参加お申込みについて

＜大会参加＞ ※旅行契約ではありません。

- 参加費（資料代など） 6,000 円

（愛媛県内在住、在勤、在学の方は、全日参加 3,000 円、1 日のみ参加 1,500 円）

- 申込開始日 2025 年 7 月 7 日（月）12：00 から
- 申込締切日 2025 年 9 月 30 日（火）23：59 まで
- その他 必要な配慮（手話通訳、要約筆記、拡大資料、点字資料、テキストデータ、車椅子席、身体障がい補助犬の同伴）がある場合は、申込時に該当箇所にチェックをつけてください。その他の配慮が必要な方は、「その他」の項目にチェックをつけ、必要な配慮について入力をお願いします。

＜分科会参加＞ ※先着順

本案内 P.7～14 をご参照のうえ、ご希望の分科会を選択してください。

＜懇親交流会＞ 事前申込制 ※旅行契約ではありません。

- 日時 2025 年 10 月 30 日（木） 18：30～20：30
- 場所 ANA クラウンプラザホテル松山（ダイヤモンドボールルーム）本館 4 階
- 会費 8,000 円（食事/立食、飲み物付、消費税込み）

＜弁当（昼食）＞ 事前申込制（当日販売はありません。） ※旅行契約ではありません。

- 日時 2025 年 10 月 31 日（金） 引換時間は 11：00～13：30 となります。
- 引換場所 各分科会会場 ※詳細情報は、弁当券に記載してご案内の予定です。
- 料金 1,200 円（お茶付、消費税込み）

＜見学ツアー＞ 事前申込制（募集型企画旅行契約）

- 11/1(土) Aコース 旅行代金 **お一人様 6,900円**

JR 松山駅===伊予市立図書館===砥部町立図書館===砥部焼陶芸館===JR 松山駅===松山空港
9:00 発 9:30/10:00 10:30/10:50 11:00/11:40 12:10 頃 12:30 頃

- 11/1(土) Bコース 旅行代金 **お一人様 6,700円**

JR 松山駅===三津浜地区自由見学(松山市立三津浜図書館・ピクチャーブックライブラリーくらほか)==
9:30 発 10:00～11:00
===愛媛県立図書館（仮設）===松山空港===JR 松山駅
11:10/12:00 12:15 頃 12:35 頃

- 11/1(土) Cコース 旅行代金 **お一人様 8,100円**

大街道入り口……坂の上の雲ミュージアム・こども本の森松山……萬翠荘……昼食（かどや）……
9:00 発 9:10/10:40 10:50/11:30 11:40/12:40
===JR 松山駅===松山空港
13:00 13:20 頃

※最少催行人数 25 名以上に満たない場合は中止にすることがあります。ご出発の 14 日前までにご連絡いたします。

※道路状況等により予定時間が変更になる場合がございます。

※各コースともに添乗員が同行いたします。

※旅行代金に含まれるもの（上記日程に記載されている交通費・通行費・入場料・食事代・取扱料金及び添乗員経費・消費税等諸税など ※入場料と食事代はコースにより異なります。）

2. お申込み・お支払い方法について



<お申込み>

申込専用のインターネットサイトから必要事項を入力してください。

※ <https://www.mwt-mice.com/events/toshokan111ehime/login>

※ 懇親交流会や弁当（昼食）の申込みの有無に関わらず、必ず大会参加の申込の手続きが必要です。

<お申込み完了後>

- 受付完了返信メールが届きますので、お申込み内容をご確認ください。
- 申込締切日 9月30日(火)までは、申込みサイトから変更・取り消しが可能です。
お振込み完了後は、変更・取消ができませんのでご注意ください。

<請求書の発行> 希望者は、10月1日（水）以降、マイページよりダウンロードいただけます。

<各種費用のお支払い>

- 支払期間 2025年10月1日（水）～10月10日（金）まで
10月1日（水）以降、①または②の方法で手続きをお願いいたします。
- ① 銀行振込 ※振込手数料につきましては、参加者負担となります。
- ② クレジットカード決済

申込サイト内にてクレジットカードでの決済が可能です。

<お支払い完了後>

マイページより10月29日（水）までに、大会参加券（全体会・分科会）、☆懇親交流会参加券、
☆弁当券、☆宿泊券を（☆印は、お申しいただいた方のうち対象の方）ダウンロード後、当日ご持参ください。

3. 宿泊プランのご案内（募集型企画旅行契約）

- 宿泊設定期間 【大会前日】2025年10月29日（水）、
【1日目】10月30日（木）、【2日目】10月31日（金）
- 最少催行人員 1名さま
- 添乗員 同行いたしません。
- 日程 各自移動となります。お客様自身で各種手続きを行っていただきます。
- 宿泊先 別紙のリスト（P.18）にてご確認ください。
- 旅行代金 別紙のリスト（P.18）にてご確認ください。
1名さま、1泊あたりの料金となります。以下の費用が含まれます。
宿泊代金、朝食（※一部ホテルは軽朝食またはお弁当）、サービス料、消費税
自家用車でご来県で、ホテルの駐車場のご利用を希望される場合は、各ホテルにより
条件（駐車可能台数、有料・無料）が異なりますので、各ホテルへお問合せください。
- 注意事項
 - ※ 客室数（禁煙・喫煙）には限りがあります。先着順に受付させていただきます。
 - ※ お部屋番号は、チェックイン時にホテルフロントにてご確認ください。
 - ※ 別途ご案内の旅行条件書をご確認のうえ、お申込みください。
 - ※ 同室ご希望の場合は、申込時に同室者設定をお願いいたします。

4. 申込み後の変更・取消（取消料）について

お電話での変更・取消は、手違いの恐れがございますので、一切受付いたしません。申込締切日（9月30日）までは申込サイトより手続きをお願いいたします。10月1日（水）以降の変更・取消の場合は、メール

(送信先: matsuyama@mwt.co.jp) にて変更内容を送信してください。

申し込み後の変更・取消は、次の手数料を申し受けます。取消日とは、当社の営業日・営業時間内に、お申し出いただいた日とします。返金は、大会終了後 1 か月以内に、指定の口座へ返金いたします。大会会場での返金はいたしません。後日返金口座を確認させていただきます。返金時の振込手数料を差し引いての返金となります。

＜懇親交流会、弁当（昼食）＞

取消日	10月22日まで	10月23日～28日	10月29日	10月30日	10月31日
懇親交流会	無 料	30%	50%	100%	—
弁当（昼食）	無 料	100%	100%	100%	100%

＜宿泊プラン・見学ツアー＞ ※各宿泊日から起算して計算します。

取消日	21日前まで	20～8日前	7～2日前	前日	当日
宿 泊 プラン	無 料	20%	30%	50%	100%
見 学 ツアー	無 料	20%	30%	50%	100%

※10月30日（木）と31日（金）の2泊分の宿泊のお申し込みを、29日（水）にすべて取り消した場合は、宿泊プランの旅行代金の30日（木）宿泊分50%と31日（金）宿泊分30%が取消料となります。

＜大会参加費＞ 大会運営の都合上、費用の振込後の取消は、費用の返金はありません。あらかじめご了承ください。

5. 旅行条件（募集型企画旅行）について

詳細は当社ホームページ（<https://www.mwt.co.jp>）でご確認いただけます。

この書面は、旅行業法第12条の4に定める旅行取引条件説明書面及び同法第12条の5に定める契約書面の一部になります。当社ホームページより事前にご確認のうえ、お申し込みください。

旅行業務取扱管理者は、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し担当者からの説明にご不明の点があれば、ご遠慮なく取扱管理者にお尋ねください。

6. 個人情報の取扱いについて

当社は、お申込の際に提出された申込書などに記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申込みいただいた運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配およびそれらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。また大会事務局さまに提出させていただきます。上記以外の目的で本人の了承なく個人情報を第三者に開示することはありません。

その他詳細は、当社ホームページ（<https://www.mwt.co.jp>）にてご確認ください。

7. 旅行条件、旅行代金の基準日

この旅行条件は2025年6月10日（火）を基準としています。旅行代金は基準日に有効な運賃・規則を基準といたします。

8. 大会参加申込・弁当（昼食）・懇親交流会・宿泊プランに関するお問い合わせ先

＜取扱い支店／旅行企画・実施＞

観光庁長官登録旅行業第55号一般社団法人日本旅行業協会正会員

名鉄観光サービス株式会社松山支店

〒790-0003 愛媛県松山市三番町4丁目12-4（松山大同生命ビル1階）

総合旅行業務取扱管理者：山本 祐二 / 担当：加藤・佐々木・今城

TEL：089-921-5131 / FAX：089-921-7166

メール：matsuyama@mwt.co.jp

営業時間 平日 10:00～17:00（土・日・祝日休業）



中四国 25-020

【別紙】

第111回全国図書館大会愛媛大会 宿泊プランのご案内

宿泊先ホテル		旅行代金（1泊1名あたり/朝食付き） ※10/29・10/30・10/31 同料金		最寄り駅までの所要時間
		シングル	ツイン (1室2名利用)	
松山市内	1 ダイワロイネットホテル	16,500	－	市内電車（路面電車）大街道駅より徒歩約1分
	2 松山松山東急REIホテル	15,500	12,500	市内電車（路面電車）大街道駅より徒歩約1分
	3 コンフォートホテル松山	11,300	－	郊外電車・市内電車「松山市」駅より徒歩約4分
	4 スカイホテル松山	10,700	－	JR松山駅より徒歩3分
	5 ホテルトップイン（※朝食お弁当対応）	9,800	－	市内電車（路面電車）大街道駅より徒歩約3分
	6 ホテルNO1松山	9,500	－	市内電車（路面電車）大街道駅より徒歩約10分
	7 アビスイン道後・松山	9,300	－	市内電車（路面電車）勝山町駅より徒歩 1 分
	8 ホテルカジワラ	8,400	－	JR松山駅より徒歩5分
	9 ホテルアビス松山	7,500	－	市内電車（路面電車）県庁前駅より徒歩2分

<ご案内>

- 1 一部ホテルは軽朝食（お弁当対応）となります
- 2 上記旅行代金には朝食代（一部ホテルを除く）、サービス料、消費税が含まれます
- 3 自家用車でご来県で、ホテルの駐車場のご利用を希望される場合は、各ホテルにより条件（駐車可能台数、有料・無料）が異なりますので、各ホテルへお問合せください。
- 4 同室ご希望の場合は、申込時に同室者設定をお願いいたします。
※松山東急REI2名1室は10/30のみの設定です。前後泊ご希望の方は、名鉄観光へお問い合わせください。

申し込み後の取消（取消料）について

※各宿泊日から起算して計算します。

取消日 項目	21 日前まで	20～8 日前	7～2 日前	前日	当日
宿 泊 プラン	無 料	20%	30%	50%	100%

■取消日とは、当社の営業日・営業時間内に、お申し出いただいた日とします。

※10月30日(木)と31日(金)の2泊分の宿泊のお申込みを、29日(水)にすべて取り消した場合は
宿泊プランの旅行代金の30日(木)宿泊分50%と31日(金)宿泊分30%が取消料となります。